

---

# とある科学の力場轟龍(AIMドラゴン)

三下

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

とある科学の力場轟龍（AIMドラゴン）

### 【Nコード】

N9311T

### 【作者名】

三下

### 【あらすじ】

学園都市の闇から生まれた少年の『力』。

その『力』を巡ってヒーロー達は再び闇に飛び込んでいく。

『新約』から分岐する科学サイドの物語。

光と闇が交差する時、もう一つの物語が始まる！！

## とある魔術の禁書目録・もう1人のヒーロー・（前書き）

どうも三下です。高1です。初投稿です。

この物語は『とある魔術の禁書目録』の二次創作小説です。

オリキャラがでますので、嫌いなかたはスミマセン。f(^^);  
誤字脱字があるかもしれませんが、何せ初投稿なのでどうかお許し  
を。温かい目で見守って下さい。

物語はプロローグから始まります。

読んでいただいた方はどうか感想を。今後の励みにしていきたいと  
思いますので。

ではでは始まります。

とある魔術の禁書目録 - もう1人のヒーロー -

- a m 2 : 3 5 学園都市第七学区

とある寮、上

条当麻の部屋 -

違和感を感じた。確信は無いが、なんとなくおかしい。『それ』が何なのかも解らないというのに。

「・・・気のせいかな？」

情眼を貪っていたツンツン頭の少年、上条当麻は、違和感を覚えて目を覚ました。寝ぼけまなこで周りを見渡すが、とある事情で彼はユニットバスで寝ているため、ただの風呂場だけだった。そもそも風呂場で寝泊まりしている事自体に違和感があるが、それに慣れている上条は気にしていなかった。まあいいか、と上条は再び寝ようとする。

遠くの方でサイレンが鳴っていたが、睡眠を欲していた上条にとってはどうでもいい事だった。

- a m 2 : 0 4 学園都市第

四学区 路地裏 -

その少年は五、六人の不良少年たちにとり囲まれていた。

少年の名前は波動 大牙（はどう たいが）。

首にペンダントの様な金属製のリングをかけている。

「オイ、てめえここでミンチになるか、俺達におとなしく財布渡すか、選ばせてやるぜ？」と不良少年の1人がニヤニヤしながらその少年、大牙に言った。

「へえ、こんな絵に描いたような不良ってまだいたんだ」

大牙は恐れもせず呟いた。その言葉に不良少年たちは激昂して、大牙に襲い掛かった。

彼らは『スキルアウ

ト』と呼ばれる不良集

団である。学校の『カリキュラム』によって超能力を発現させる学園都市の学生は、『超能力者（レベル5）』から『無能力者（レベル0）』の六段階に分けられており、無能力にコンプレックスを抱いた学生が集まった不良集団を『スキルアウト』という。

大牙に襲い掛かった不良少年たちは皆金属バット等の武器を持っていたが、大牙の余裕は変わらない。大牙が右手を軽く振るつた途端、不良少年たちの金属バットが全て両断された。

「……………っ！！て、テメエ能力者か！！」  
驚いた不良少年たちは動きを止めた。

「まだやんの？」

大牙は笑みを浮かべながら聞いた。すると、不良少年の1人が叫びながら殴りかかってきた。大牙が今度は右手を横尻ぎに振るうと、その少年はノーバウンドで5メートル程吹き飛ばされた。

「あがあああッ！！」

地面に叩きつけられた不良少年は痛みにとうち回つたが、大牙は手加減していたので骨は折れていないだろう。目の前で仲間が吹き飛ばされたのを目の

当たりにしたせいか、不良少年たちは身動きを取れずにいた。

「もういいか？」と大牙は呆れて立ち去ろうとした。すると、

「う、うわああああッ！！」と不良少年たちは恐れながらも大牙に殴りかかった。

「はあっ、そーかよ。めんどくせーなーもー」

それから2秒後、決着は着いた。路地裏に立っていたのはたった1人だけだった。

誰だったのかは、それこそ言うまでもなかった。



とある魔術の禁書目録・もう1人のヒーロー・（後書き）

読んでいただいて本当にありがとうございました。

ここではオリキャラの設定を。微チートキャラがでますので、嫌いなかたは本当に申し訳ない。

波動 大牙

（はどう たいが）

16歳 『大能力者』

高校1年生。不真面目で高校もサボりがちだが、相当の切れ者。

実は学園都市最暗部のとある実験の被験者。肌身離さず首にかけている金属製のリングには秘密が……。

能力名

『粒子爪牙』

（エナジータスク）

能力 AIM拡散力場を集束させて、爪、牙、尻尾、角等の鋭利な武装をつくる。1度につくることのできる武装は最大2つまで。

大牙が被験者となった実験の産物で、隠された秘密がある。

ここからは、次回から登場していくキャラクターです。

矢車 睦月

（やぐるま むつき）

17歳 『無能力者』

スキルアウトグループ『スティングァー』のリーダー。

明るく面倒見がいいが、仲間を護る為には命すらも惜しまない熱血漢。

篠塚 七海

(しのづか ななみ)

14歳 『大能力者』

常盤台中学2年生。

男勝りな性格。大牙の事が気になっているが、恋愛感情には至っていない。

能力名 『治癒促進』

(ヒーリングパス)

治癒力を促進する特殊な脳波を相手に送り、傷や病気の治りを早める。逆の脳波を送り、傷の治りを遅めたり出血量を増やしたりできる。意外にエグい能力でもある。

以上が今のところの設定

定したキャラクターです。

いかがでしたでしょうか。これから一生懸命頑張っていきたいと思

いますので、どうか宜しくお願いいたします！  
感想も宜しくお願いいたします！！

平穩の終わりと波乱の始まり - f l a s h - (前書き)

どうも三下です。

早くも二話目です。

前回のキャラ設定で紹介した二人は次回以降の登場となります。

さて、本作は『新約』とある魔術の禁書目録』第一巻の最後から、少し経ってからのお話です。

初投稿時には、まだ第二巻が発売していない

為、これからパラレルになっていくと思いますが出来るだけ原作に忠実に従って執筆していきます。

今回はあの白い髪の人が出てきます。

バトルシーンはありません。ではでは

第三次世界対戦。

科学と魔術、2つの異能が交差した戦争。

世界中を巻き込んだ戦いは終わり、平和な日常が戻ろうとしていた。しかし、学園都市では暗部の『新入生』によつて、フレミア・セイヴェルンという少女が狙われた。

科学と魔術の抗争はひとまず終息したが、学園都市内部では、まだ完全な平和は訪れないのである。

そもそも学園都市は様々な思惑や思想、目的によつて造られたモノであり、何を持ってして『完全な平和』なのかは定かではないが。そしてここに、その思惑のエスカレートによつて創られた少年がいる。

波動 大牙。

彼には、彼自身が恐怖する程の力が眠っている。

その事はまだ、彼以外は誰も知らない。

『その』日 am 2:35

第六学区 大通り

学園都市最強の『超能力者』一方通行>アクセラレータ<は、黄泉川愛穂のマンシヨンに戻る途中だった。

以前の彼ならば『戻る』場所など無かつたのだが、ここ数カ月で彼は、信頼できる人間や、戻るべき場所を手に入れていた。

ところで、なぜ彼がこんなにも遅い時間に外に、更には第六学区まで足を運んでいるのかというと、

(チツ、学園都市のクソ暗部め、一般人には手エ出さなつつつといたのによオ。俺達の目につくだけでもこの数だ、いい加減に消し炭にしたくなってきたなアオイ)

つまり、彼は学園都市の闇を消し去ろうと今も戦っているというこ

とである。

「ねーねー、ミサカ帰るのメンドくさいんだけどさー。折角だからそのホテルにでも泊まってかなーい？」

と気だるそうに一方通行の隣を歩いている、アオザイと呼ばれる民族衣装を身に纏っている高校生位の少女は、

番外個体>ミサカワースト<。

学園都市第三位の超能力者、御坂美琴のDNAマップを元に製造されたクローン、『妹達>シスターズ<』の第三次製造計画>サイドシーズン<

で作られた個体である。

番外個体は、目付きの悪い瞳でニヤニヤしながら一方通行に言った。「どんな部屋でもミサカ気にしないからさー。あ、折角だから一緒に寝てあげてもいいよ？」

「さアて、さつさと帰って早く寝ちまおうかなア」

彼はベクトル操作の能力を持ち、そのチカラでさつさと帰る事ができるのだが、暗部との戦闘で、首もとのチョーカー型電極の調子が悪くなった為、暴走をしないように能力使用を控えているのだ。

そんな一方通行の心情など考えず、番外個体は減らず口を叩く。

「なあるほど。マンションでやつちゃう感じか？ヨミカワや愛しの打ち止め>ラストオーダー<に見つかったら終わりだね、イヒッ」

「オイ、黙って歩くかマンションに音速で突き刺さるかどっちか選

べ

「ハイハイ、ゴメンネー」

その時、

『ドゴオオオオオオンツツツ!!』

轟音が鳴り響き、第四学区の方角の空が金色に輝いた。

「なんだア!？」

「ヒュー、これまた波乱の始まりかもねッ」

平穩の終わりと波乱の始まり - f l a s h - (後書き)

後書き！ということで後書きです。

少し短めでしたがいかがだったでしょうか。

果たして大牙の隠された秘密とは！？

楽しんでいただけたらとても嬉しいです。

・・・基本自己満足で執筆していますが。

出来るだけ長く続けていきたいと思いますが、高校生はやっぱり忙しいので、頑張ります。

感想を頂ければやる気が出るので、ぜひぜひ感想下さい。

指摘もありがたいですが、作者の心はデリケートなので、あんまりキツイのはご勘弁。

ではまた！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9311t/>

---

とある科学の力場轟龍(AIMドラゴン)

2011年10月9日05時19分発行